

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目	工業 建築計画		単位数	2
対象学年・組	2学年建築科	教科担任	AA:田中 AB:田中	
教科書 ・ 副教材	7 実教 工業 362 建築計画(実教出版) 2級 建築施工管理技士 学科テキスト、必携建築資料(実教出版)			
1. 目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・建築の意義と、建築計画の位置づけや流れを理解させる。 ・建築と環境、各種建築物の計画、都市計画、建築設備、建築の歴史的な変遷などの建築計画に関する基礎的な知識と技術を習得させ、豊かな建築空間を安全性に十分配慮して、合理的に計画し、設計できる能力と態度を育成する。 				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単 元	学習の内容・留意点	予定時数
1 学 期	4	建築計画を学ぶにあたって	日本および世界の建築計画の歴史や、地球環境と建築計画のかかわりについて、わかりやすく説明し、建築に対する興味・関心を高めるようにする。	3
	5	第2章 住宅の計画 1 住宅の意義	住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上的特質について理解させる。	7
	6	2 住宅計画の進め方	住宅地に建つ標準的な独立住宅の計画を示し、建築計画の進め方について理解させる。	8
	7	3 全体計画	独立住宅の敷地・配置・平面などの各計画にあたっての留意事項を示し、設計への具体化について理解させる。	6
1学期授業時数計				24
2 学 期	9	4 各部の計画	独立住宅における各室の形状、形態、適正な規模などを示し、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法について理解させる。	6
	10	第3章 各種建築物の計画 1 集合住宅の計画	集合住宅の目的や種類、使われ方のほか、敷地・配置・平面などの各計画にあたっての留意事項、住戸を構成する各室の形式・形態、適正な規模などを示し、集合住宅の計画について理解させる。	6
	11	3 小学校の計画	小学校の目的や種類、使われ方のほか、校地・配置・平面などの各計画にあたっての留意事項、小学校を構成する各室の形式・形態、適正な規模などを示し、小学校の計画について理解させる。	6
	12	第1章 建築と環境 1 建築と環境の概要 2 屋外環境と室内環境	日本の気候をはじめとした、建築物を取りまく環境について説明し、建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素について理解させる。	6
2学期授業時数計				24
3 学 期	1	3 換気と通風 4 伝熱と結露	換気と通風の基本的な事項および計画上の規準について理解させる。建築物の各部に生じる熱の移動のしくみ、および断熱方法について理解させる。	3
	2	5 日照と日射 6 採光と照明 7 色彩	建築物と日照・日射の関係や、室内に快適な明るさを得るための採光と照明、そして色彩についての基本的な事項および計画上の規準、計画方法、配置・平面計画との関連性について理解させる。	5
	3	8 音響	室内の生活環境をよくするための騒音防止や音響設計の基本的な事項について理解させる。	5
3学期授業時数計				13
年間授業時数合計				61
3. 評価の観点・方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の得点で、学習の到達度・理解度を評価する。 ・定期考査の赤点は30点未満。ただし、平均点が60点を超えた場合は、その半分以下を赤点とする。 ・定期考査と合わせ、ノート・プリント・レポート課題の提出を行う。未提出者は評価の対象としない。 ・定期考査・提出物・出席状況・授業態度を踏まえ、総合的に評価を行う。 ・成績不振者については、別途課題・追試・補講等を行う場合もある。 				